

薬

ヤク
くすり

〔3年〕

16画
一 廿 廿 廿 芥 菘 藥

〔なりたち〕

旧字体は藥。鑠(ハ) (溶かすこと)の意味の樂と(くさかんむり)との会意形声字。草をせんじて溶かした「くすり」を表した字。「薬草」のことで。飲むと苦しみが治まって気分が「薬」になる。



〔いみじゆく〕
▼薬。病気や傷を治す働きのある植物や化学物質。
薬草：薬になる草。病気や傷を治す効き目のある草。
薬石：様々な薬や治療法。「石」は昔の治療用具である石針のこと。〔用例〕薬石効無く息を引き取る。
薬物：薬になる物質。薬品。薬用：薬として用いること。

〔例薬用せつけん〕
良薬：良く効く薬。〔用例〕良薬は口に苦し。
毒薬：少量で激しく作用し、生命に危険を及ぼす薬。
化学変化を起こすための材料。
火薬：化学変化により、激しく爆発する物質。

〔よみかた〕
薬学・薬剤・薬品・薬味・薬局・医薬・粉薬・睡眠薬・投薬・塗り薬・妙薬

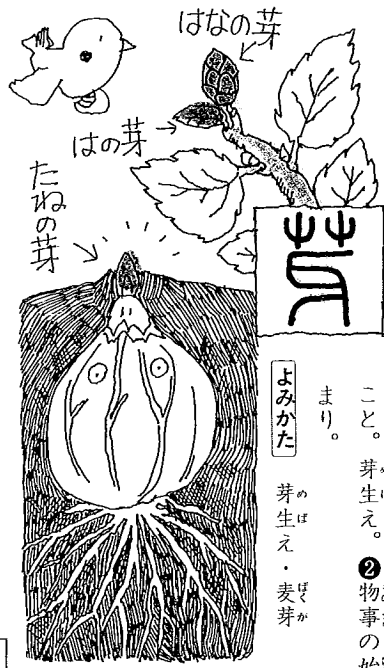
芽

め ガ

〔4年〕

8画
一 廿 廿 廿 芽 芽

〔なりたち〕
食べ違った牙(ハ)の形を表した牙(ハ)と、廿(くさかんむり)との会意形声字。牙のような形をした「草の芽」を表した字。「草木の芽」。



〔いみじゆく〕

▼芽。新芽：新しく出て来た芽。若芽：生え出してから間もない芽。

発芽：芽がでること。
肉芽：①腋芽(めい) (葉の付け根のところにできる芽)の一種。球状をし、地上に落ちると根を出して生長する。②皮膚の傷の跡に盛り上がったて来る肉。
▼物事が始まる兆し。
萌芽(めい)：①芽が萌(も)しえ出ること。芽生え。②物事の始まり。

〔よみかた〕

芽生え・麦芽

芽苗

苦

ク

〔3年〕

8画
一 廿 廿 廿 苦 苦

〔なりたち〕

廿(くさかんむり)と古との会意形声字。「古い草」という意味の字で、採って乾燥させ蓄えておく「薬草」を表した字。苦いので「苦い」意味を表す。転じて、「苦しい」の意味。



〔いみじゆく〕
▼苦い。
苦味：苦い味。
▼苦々しい。おもしろくない。苦言：言われた人はおもしろくないが、従う方がためになる忠告。

▼苦しむ。苦しみ。苦痛：心や体が苦しみ痛むこと。また、その痛み。
▼苦しい労働。苦役：苦しい労働。
▼苦戦：強い相手と苦しみながら戦うこと。また、苦しむ。

貧苦：貧しさによる苦しむ。
▼骨を折る。努力する。
▼苦心：あれこれ心を砕いて考へたり努力したりすること。
▼仏教で、前世の悪業のためを受ける苦しむ。
四苦：生・老・病・死の四つの苦しむ。〔例〕四苦八苦

苗

ビョウ
なえ・なわ

〔4年〕

8画
一 廿 廿 廿 苗 苗

〔なりたち〕
田(た)と廿(くさかんむり)との会意字で、「田に生えた草」という意味の字。「稲の芽生えて間がないもの」を「苗」という。その苗を表した字。



〔いみじゆく〕

▼苗。稲や麦などの芽が出て間もないもの。
苗木：移し植えるために育てた小さな木。樹木の苗。
苗床：種をまいて、苗を育てるための場所。
苗代：稲の種をまき、苗になるまで育てる田。

▼人体に接種して免疫を作る材料。
痘苗：種痘に使うワクチン。天然痘の病原体を子牛の腹壁に接種して得る。
▼血筋。子孫。
苗字(めい)：その家の名。姓。(現在は「名字」と書く。)

〔よみかた〕

早苗